

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなしの会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなしの会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●開催日時

1月12日(木)
午前10時30分～

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

昨年の直木賞受賞作家の最新刊

米澤 穂信著/『葉と嘘の季節』



集英社

小説

高校で図書委員をつとめる次郎と詩門は、ある日、図書室の返却本の中に、押し花の葉を見つける。それは猛毒のトリカブトで、校舎裏で栽培されているのも発見され…。ベストセラー「本と鍵の季節」の続編になる本作は、読み応えのあるほろ苦い青春ミステリ長編。「黒牢城」で昨年直木賞を受賞した著者の最新刊です。

絵とストーリーがとっても楽しい絵本

エリック・カール作/『ごちゃまぜカメレオン』



偕成社

児童書

カメレオンは、まわりの環境にあわせて体の色を変えながら、ハエを食べてくっていた。でもある日、動物園で見たほかの動物がうらやましくなり、「あんなふうになれたらなあ」と思うと、体がどんどん変化していった…。ページをめくると、いろんな動物の特徴を身につけて、色も形もごちゃまぜ！自由な発想が楽しい絵本です。

人々の信仰、生活に寄り添ってきた神木と巨樹

本田 不二雄著/『日本の凄い神木』



地球の歩き方

一般書

青森県五所川原市の十二本ヤス、静岡県南伊豆町のビャクシン、鹿児島県始良市のクス…。全都道府県各地を鎮守する神木・巨樹250柱と、それが見てきた日本の歴史を巡る。それぞれの写真と由来も興味深い、「地球の歩き方BOOKS」シリーズであるため、アクセスも丁寧に記載されていて、神木を辿る旅をしたくなるおすすめの本。

作りだしたら時間を忘れて楽しめます！

ミムラトモミ著/『大きなダーニング刺繍 極大、中大毛糸を使って』



誠文堂新光社

教養娯楽

塗り絵で色鉛筆を選ぶようにワクワクしながら毛糸の色で楽しめるダーニング刺繍。本来はお直しの技法ですが、組み合わせることでかわいい図案を描けます。クマやイヌなどの大きなモチーフの刺し方と、クッションなどの作り方を実物大の図案や型紙とともに紹介し、色の組み合わせのコツも解説。編み物の残り毛糸が大活躍します。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

日本での初版が1965年という超ロングセラーのこの絵本は、我が子が3歳のころ何度も読み聞かせした、思い入れのある絵本です。

おじいさんが森の中で、てぶくろを片方落としてしまい、その中にねずみが住み着きます。そこへかえるがやってきて「わたしも入れて」と言うと、ねずみは「どうぞ」と、一緒に住むことにします。このあと、うさぎ、きつね、おおかみ・・・と、てぶくろには絶対入りっこないサイズの

今月の案内人



村上 律子さん
(町図書室職員)

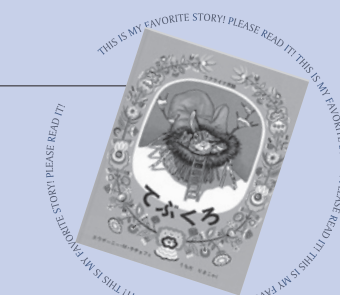
動物たちが来て、全部で7匹！ぎゅうぎゅうづめで今にもはじけそうになっているけど、入ってしまうのです！

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『てぶくろウクライナ民話』(明・M・ワグネル著、ちだりさこ訳)
おじいさんが落とした手袋の中に動物たちが次々に入っていきます。しばらくしておじいさんが手袋を探しに戻ってきました。いったいどうなるのか？

動物たちが来て、全部で7匹！ぎゅうぎゅうづめで今にもはじけそうになっているけど、入ってしまうのです！

ありえないお話ですが、子どもにとっては、自分もぎゅうぎゅうづめで、てぶくろに入ってしまったみたい楽しくてしかたないらしく、お気に入りの絵本でした。膝の上に抱っこして、ぎゅ～っとしながら読んで、あたたかい感触が懐かしく思い



出されます。小さなお子さんやお孫さんの、冬の読み聞かせにおすすめの絵本です。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶町公民館からのお知らせ

公民館自主講座のご案内

町公民館では、健康で心豊かな生き方を応援するために、町民の皆さんが講師となって自主的に行う「公民館自主講座」を開催しています。

現在、「手工芸教室」4講座、「料理」2講座、「文化・教養」5講座、「音楽」3講座、「スポーツ・健康」9講座の全23講座を開講。一部は、各地域の公民館に出向いて演技を披露するなど、出前講座としても活動しています。

随時、受講生を募集しています。各講座の詳細については、町公式ウェブサイトをご覧になるか、町教育委員会公民館事務局までお尋ねください（新型コロナウイルス感染症の影響のため休止している講座もあります）。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館出前講座 暮らしの安全を学ぶ

12月2日（金）中横田集会所で出前講座が開催されました。

町くらし安全推進室の永井恒一室長を講師に迎え、地域住民29人が振り込め詐欺



▲振り込め詐欺の対策について話す永井室長

欺対策や防災について学びました。永井室長は、振り込め詐欺について「役所の職員を語る『還付金詐欺』が増え

ています。電話でお金の話が出たら家族や身近な人、警察に相談してください」と注意喚起しました。

また、町が地域の防災情報などを配信するメールアドレス「こうさき情報たしかめーる」について説明。永井室長は「ぜひ、携帯電話を持っていく人は登録をお願いします」と利用促進を訴えました。

町公民館出前講座 マジックショー

12月4日（日）下豊内公民館で出前講座が開催されました。

マジシャンの道上春美さん（下豊内区）を迎え、下豊内老人クラブの16人がマジックショーを楽しみました。

道上さんは、トランプやコインを使ったマジックを披露。また、同老人クラブ会員の誕生日会も合わせて



▲箱からいろいろなものが出てくるマジックを披露する道上さん

行われ、「お誕生日おめでとう」と書かれたメッセージが箱から出てくるマジックでは、会場から大きな拍手や歓声が上がりました。参加者は「マジックは素晴らしいかったです、道上さんの誕生日会に合わせたの思いやりも嬉しかったです」と笑顔を見せました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

差別を断ち切る自分になろう

県内では、今もなお悪質な差別落書きや差別張り紙、土地購入に際しての市町村窓口への同和地区の有無についてのお問い合わせ、企業が市町村へ進出する交渉の中での部落差別発言など許されない行為が発生しています。さらに、SNSやインターネット上で差別情報が掲載されるといった問題も発生しています。

●部落差別のない社会を実現するために

令和2年6月に制定された「熊本県部落差別の解消の推進に関する条

例」の第7条第2項では、県民や事業者に対して、以下のとおり規定しています。

- ①同和地区の所在が書いてある図書や地図等の提供をしてはいけません。
- ②同和地区であるか否かを他者に教えたり、広めたりしてはいけません。
- ③結婚や就職に際して、その人やその親族が同和地区に住んでいるか、住んでいたかについて調査を依頼してはいけません。
- ④その他、同和地区に住んでいることまたは住んでいたことを理由として、結婚および就職に際しての差別事象の発生につながるおそれのある

行為をしてはいけません。

私たち一人一人が、部落差別について正しく理解するとともに、自分の問題として捉え、具体的な行動につなげていきましょう。

熊本県教育委員会
啓発チラシより作成

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)